

令和5年8月28日

受診者・利用者（保護者）の皆さまへ

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

臨床研究の実施についてのお知らせ

当センターで臨床研究を実施する際には、通常、研究の対象者に該当する可能性のある当センター受診者・利用者の皆さまに研究内容等を事前に文書で説明し協力の同意をいただくこととなっています。

ただし、臨床研究のうち、受診者・利用者の皆さまの診療情報等や余った検体のみを用いる研究については、国が定めた倫理指針（『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』）に基づき、受診者・利用者の皆さまから直接同意を受けない場合があります。この場合は、あらかじめ研究内容を書面で通知するか Web サイトで公開し、受診者・利用者の皆さまの診療情報等や余った検体が研究対象とされることを拒否できる機会を設けております。こうした手続きをオプトアウトといいます。

当センターでオプトアウトにより実施する臨床研究は別記のとおりです。当センターが保有する診療情報等や余った検体を臨床研究に使用されることを拒否される方は、お手数ですが下記の臨床研究の担当者までご連絡をお願いします。

なお、すべての臨床研究は、当センター倫理審査委員会で科学性・倫理性が審査されたうえ、センター所長の承認を得て実施されます。

□問い合わせ先

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

リハビリテーション課 作業療法士 入山真李

電話番号：058-233-7277

E-mail：iriyama-mari@pref.gifu.lg.jp

別記

希望が丘子ども医療福祉センターの受診者・利用者（保護者）の皆さまへ

当センターは、下記の臨床研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性がある方で、個人の診療情報・利用情報等を研究目的に利用または提供されることを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究の名称	発達が気になる年長児の感覚特性と発達特性の関連 －SSP と JMAP を用いた調査－	
当センター研究責任者	リハビリテーション課 入山真李	
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし	
研究の目的	本研究では、感覚特性を評価する短縮版感覚プロファイル（以下、SSP）と発達特性を評価する日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査（以下、JMAP）の結果を用いて感覚特性と発達特性の関連性を調査します。関連性が分かることで、感覚特性をもつ子どもが発達するなかでどこに躓きやすいかを推測しやすくなり、適切な支援に役立てることを目的とします。	
研究の実施期間	令和5年5月30日～令和6年4月30日	
研究対象となる方	平成31年4月から令和5年9月までに当センターでSSP及びJMAPを実施した年長児の患者様	
収集・ 利用する 試料・ 情報	対象とする 試料・情報	評価実施時の年齢、診断名、SSP及びJMAPの結果、 評価実施日前後半年以内の発達検査の結果
	利用目的	感覚特性と発達特性の関連性を知り、適切な支援に役立てるため
	対象試料・情 報の該当期間	当該患者に係るSSP及びJMAP実施時の情報
	管理責任者	リハビリテーション課 入山真李
個人情報の取扱い	利用する個人情報から、患者・利用者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、学会等で研究成果の発表を予定していますが、その際も患者・利用者さまを特定できる個人情報は使用しません。	

研究での利益相反	本研究に関連した利益相反関係にある企業等はありません。
問い合わせ先	担当者：リハビリテーション課 作業療法士 入山真李 電話番号：058-233-7277 E-mail：iriyama-mari@pref.gifu.lg.jp
備考	